若宮 健嗣（デジタル田園都市国家構想担当）大臣が沖縄県内の視察として那覇市 タイムスビル内のテレワーク施設howliveを訪問。

沖縄県でコワーキングスペースhowliveを運営する株式会社マッシグラ沖縄タイムス（沖縄県那覇市、代表取締役：金子智一）の施設に若宮 健嗣（デジタル田園都市国家構想担当）大臣が令和4年4月16日（土）に沖縄県内の視察に訪れました。目的はデジタル田園都市国家構想担当として沖縄県の那覇市久茂地にあるhowliveタイムスビル店他を視察することでした。リモートロックや決済と連動したハウリブオリジナルのシステムについての説明や、リモートのテレビ会議等に最適なテレビ会議ボックスについて見学いただきました。

5拠点展開しているhowliveの中でも視察に訪れた那覇市のタイムスビル店は空港から近く、県外からのアクセスが抜群でありメインストリートの国際通りへも徒歩すぐの好立地。デジタル技術を活用した新しい働き方、テレワーク・ワーケーションに最適な環境です。

【若宮 健嗣（デジタル田園都市国家構想担当）大臣訪問について】
■大臣訪問概要
⑴ 日　時　令和4年4月16日（土）
⑵ 場　所　howliveタイムスビル店
⑶ 内　容　県内主要関連施設の視察他

コワーキングスペースhowliveは沖縄県内5拠点、那覇市タイムスビル店、北中城市イオンモール沖縄ライカム店、読谷村残波岬いこいの広場店、名護宮里店、宮古島で展開しております。howliveでは各店舗にWEB会議用のフォンブース、複数名で打ち合わせできるコワーキングエリア、また会議室を完備しており企業単位のワーケーションにも対応しております。ドリンクサービスや書籍はもちろん、高級オフィス家具のハーマンミラーのワークチェアを自由に使うことができ、ただ仕事をこなすだけのスペースとしてではなく効率的に業務に集中・アイデア出しができる「働く人目線」にこだわり抜いた空間を存分に味わうことができ、安定した作業環境を求めるリピート利用の方も多くいらっしゃいます。沖縄県内5拠点あるのでその日の営業先、打ち合わせ先に応じた店舗を利用可能で毎日フレキシブルな予定を組むことができます。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い企業のテレワーク化、密を避ける勤務体系の仕組み作りが今後も持続的に必要になります。howliveでは新たに従量課金制である法人プランを開設し企業に柔軟にテレワークを導入していただけるサービスが始まりました。あらゆる業種や規模でご活用いただけるよう企業におけるテレワークの課題解決に努めて参ります。

■本件に関するお問い合わせ先■
株式会社マッシグラ沖縄タイムス（沖縄県那覇市久茂地2-2-2）
TEL：098-894-8124　MAIL：staff@howlive.jp　担当：比嘉